

UWB 高度化と応用シンポジウム概要

主催： 独立行政法人 情報通信研究機構
協賛： マルチメディア移動アクセスフォーラム
電子情報通信学会ワイドバンドシステム研究専門委員会
日時： 2010年7月22日(木) 10時15分より受付開始
会場： TKP 代々木ビジネスセンター
<http://tkpyoyogi.net/conference/confer21a.html>

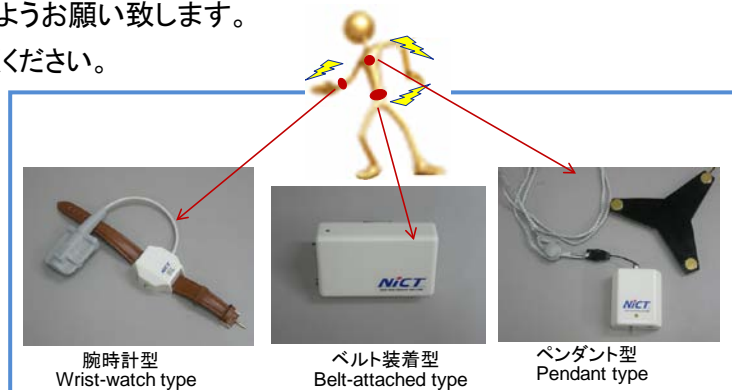
UWB は短距離の高速通信および高精度の測距・測位などにおいて、優れた特性をもつ技術として様々な利用分野で注目されています。日本国内においては平成 18 年 8 月に UWB 無線システムの法制度が導入されましたが、既存無線システムとの周波数共用条件の評価を行う上で、3 年後を目途に技術的条件の見直しを行うことが妥当とされています。独立行政法人情報通信研究機構は平成 19 年度から 3 年連続して総務省より電波利用料技術試験事務を受託し、「マイクロ波帯を用いた通信用途の UWB 無線システムの高度化に関する調査検討」を行ってきました。平成 21 年度においては、日本国内の法制度で必要とされている UWB 干渉軽減技術 DAA(Detect And Avoid)に着目し、諸外国の検討状況を調査すると共に、検出性能評価試験および干渉回避評価試験を実施しました。

本シンポジウムでは、UWB の制度化および研究などにおいて活躍されている大学先生を招いて、UWB のトレンドについて特別講演を戴くと共に、独立行政法人情報通信研究機構が平成 21 年度に行った UWB 無線システムの高度化に関する調査検討の成果の報告を行います。さらに、低レート UWB 無線システムの開発・検討を行っている企業の方による低レート UWB 無線システムの開発および利用に関する講演を行います。本シンポジウムの開催を通して UWB 無線システムと既存無線システムとの周波数共用に対する理解を深め、UWB 無線システムの利用が促進されるきっかけとなることを期待します。

会場にて UWB ハイバンドを用いたボディエリアネットワークなどの展示デモを予定しています。シンポジウム終了後意見交換会も予定していますので、奮ってご参加頂けるよう宜しくお願い致します。なお、シンポジウムの聴講および意見交換会の参加は何れも無料ですが、事前参加登録を行って下さいませようお願い致します。

プログラムは次ページをご参照ください。

UWBを用いた
ボディ・エリア・ネットワーク
などの展示とデモを予定



UWB 高度化と応用シンポジウムプログラム

(敬称略)

10:30~10:40	開会	熊谷 博(情報通信研究機構)
10:40~10:50	来賓挨拶	調整中(総務省移動通信課)
10:50~11:30	基調講演	UWB 技術とその利活用について 河野 隆二(横浜国大)
11:30~12:00	特別講演 1	周波数共用と UWB 端末の普及 眞田 幸俊(慶応大)
12:00~13:00	昼休み	
13:00~13:30	UWB 高度化(1)	UWB 無線システムの高度化調査検討について 李 還幫(情報通信研究機構)
13:30~14:00	UWB 高度化(2)	UWB の国際的な検討状況, 動向に関する調査 野田 正樹(日立製作所)
14:00~14:30	UWB 高度化(3)	UWB 検出器を利用想定した、WiMAX/LTE 信号 の検出性能について 山根 浩敬(ルネサスエレクトロニクス)
14:30~15:00	UWB 高度化(4)	トーンリングによる UWB 無線システムの干渉 回避についての検討報告 谷田 邦雄(TDK)
15:10~17:55	休憩	
15:40~16:10	特別講演 2	電波伝搬の立場から見た UWB 無線システム 小林 岳彦(東京電機大)
16:10~16:40	特別講演 3	低ビットレート UWB システムへの期待と国際動向 原 晋介(大阪市立大学)
16:40~17:05	低速 UWB(1)	ローバンド・インパルス UWB を用いた測位システムと アプリケーション事例 宮崎 祐行(日立製作所)
17:05~17:30	低速 UWB(2)	IR-UWB を用いた測位技術の開発 関口 英紀(富士通研究所)
17:30~17:55	低速 UWB(3)	ハイバンド・ローレート UWB 無線を用いた TOA、DOA に よる UWB 一点測位機器構成 深川 隆(パナソニック)
17:55~18:00	閉会	門脇 直人(情報通信研究機構)
18:00~20:00	意見交換会	
18:00~	開会	小林 岳彦(東京電機大)
19:50~	閉会	眞田 幸俊(慶応大)